#### allcinema

# さよなら、アドルフ(2012)

L0RE

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 オーストラリア/ドイツ/イギリス

色彩 Color

**時間** 109分

初公開日 2014/01/11

公開情報 キノフィルムズ

映倫 PG12

### 【キャッチコピー】

少女は生きる。

絶望と葛藤の その先を一一

これは"ヒトラーの子供"の《戦後》の物語

#### 【解説】

「15歳のダイアリー」で注目されたオーストラリアの女流監督ケイト・ショートランドが、レイチェル・シーファーのブッカー賞最終候補作『暗闇のなかで』を映画化したヒューマン・ドラマ。敗戦直後のドイツを舞台に、ナチス幹部だった両親を拘束された14歳の少女が、幼い弟妹たちとともに祖母の家を目指して占領下のドイツを縦断する過酷な旅の行方と、その道中で初めて知るナチスの衝撃の真実に打ちのめされながらも力強く向き合い成長していく姿を描く。ヒロイン、ローレ役は本作の演技が高い評価を受けた新星ザスキア・ローゼンダール。

1945年、春。ナチス親衛隊の高官を父に持つ14歳の少女ローレ。ナチス・ドイツの勝利を信じていた彼女は、ヒトラー総統が亡くなったという母の言葉にショックを受け混乱する。やがて両親は連合軍に拘束され、彼女は幼い4人の弟妹たちと取り残されてしまう。そこで、彼らを連れて遥か900キロも離れた祖母の家を目指すことに。ところが、敗戦を境にナチスに対する世の中の風向きは一変し、特権階級の生活を謳歌していたローレたちは行く先々で冷たい仕打ちに直面する。そんな中、偶然出会ったユダヤ人青年トーマスだけがローレに優しく手をさしのべる。それまで当然のように蔑んできたユダヤ人に助けられ、戸惑いを隠せないローレだったが…。

## 【クレジット】

製作総指揮

監督 ケイト・ショートランド Cate Shortland製作 カーステン・ストゥーター Karsten Stöter

リズ・ワッツ Liz Watts ポール・ウェルシュ Paul Welsh ベニー・ドレクセル Benny Drechsel

マーガレット・マシスン Margaret Matheson ヴィンセント・シーハン Vincent Sheehan

アニタ・シーハン Anita Sheehan

**原作** レイチェル・シーファー Rachel Seiffert

『暗闇のなかで』 (アーティスト ハウスパブリッ シャーズ刊)

脚本 ケイト・ショートランド Cate Shortland

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています。

#### allcinema

ロビン・ムカルジー Robin Mukherjee アダム・アーカポー 撮影 Adam Arkapaw プロダクションデ ジルケ・フィッシャー Silke Fischer ザイン 衣装デザイン シュテファニー・ビーカー Stefanie Bieker ヴェロニカ・ジェネット 編集 Veronika Jenet 亲音 マックス・リヒター Max Richter Saskia Rosendahl □-レ 出演 ザスキア・ローゼンダール Kai Malina カイ・マリーナ トーマス ネーレ・トゥレプス Nele Trebs リーゼル ウルシーナ・ラルディ Ursina Lardi ローレの母 ハンス=ヨヘン・ヴァークナー Hans-Jochen Wagner ローレの父 ミカ・ザイデル Mika Seidel アンドレ・フリート André Frid イーファ=マリア・ハーゲン Eva-Maria Hagen